



2026.07

vol.67

SHINWA

Forum



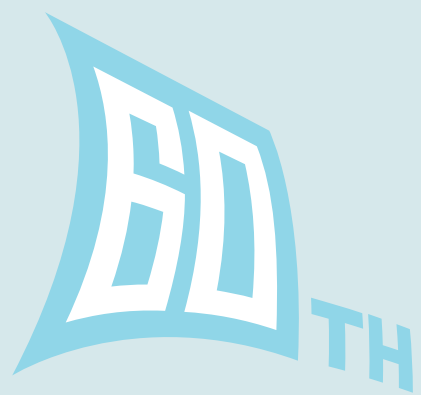
おかげさまで神戸親和大学は
創立60周年を迎えることができました。



ともに学び ともに成長する

神戸親和大学
KOBE SHINWA UNIVERSITY





創立60周年を迎え引き継がれる親和の学び 伝統ある「親和行事」

1985年から受け継がれてきた伝統
あなたを迎えた親和行事は、今も続いています

親和行事は、1985年に新入生の不安を和らげ、仲間や教職員とのつながりを深める目的で始まりました。時代や学生のニーズに合わせ、現在は日帰り中心へと形を変えながらも、新入生同士の交流を促し、安心して大学生活を始めようという理念は受け継がれています。

また、2年次以上の先輩学生がリーダーとして企画・運営を担う点も特長です。支え合いの文化の中で、学生たちはコミュニケーション力や責任感を育んでいます。

今回は、2026年度の「親和行事」でリーダーを務めた4名の学生に、参加した想いや学びについて語ってもらいました。



SHINWA FORUM vol.8(1988年)
「親和行事」についての特集が掲載されています

歴史ある行事のバトンを 引き継いでくれたらうれしい

1年時に参加した「親和行事」がすごく楽しくて、そこで友だちもできたので、先生に声をかけていただいたこともあってリーダーを務めました。今年は留学生が多くて、だからこそ全員が仲良くなれるように、チーム分けやグループ分けに工夫を凝らしました。「神戸須磨シーワールド」に行ったのですが、海を見たことのない国の学生たちもいてイルカやシャチのショーに写真を撮ったり大喜びでした。

私は積極的に人前に出るタイプではないのですがリーダー体験を通じて自信が生まれました。

文学部
国際文化学科
Aさん

先輩方が作り上げてきた伝統を 次世代につなぐ役割を果たす

心理学科では2・3年次と続けてリーダーを務めるのが慣習になっています。昨年はBBQ体験を取り入れたのですが火起こしに時間がかかってしまい、交流時間が削られたので反省点を活かし今年はカレー作りで改善。神戸市北区にある「しあわせの村」に、カレー作りとボッチャやジェスチャーゲームで盛り上がりました。

伝統ある行事のリーダーとして参加できたことを光栄に思います。

先輩方が作り上げてこられた伝統を、さらに良い形にして次の世代につないでいきたいと願いながら臨みました。

文学部 心理学科
※2027年4月心理学部新設
Kさん

たくさんのことを学べ、 自身のスキルアップも実感

入学時に体験した「親和行事」で、リーダーがハキハキと話され、明るく場をまとめていたのが印象的でした。人前で話するのが苦手な意識を克服したくて、立候補しました。今年の教育学科は250人も入学生がいて、全員に楽しんでもらえる内容についてリーダー同士で何度も話し合ったのはいい思い出です。実際の行事では、新入生の弾ける笑顔や歓声を目の当たりにしてこちらの心まで躍りました。多くの事を学ぶことができ、自分のスキルも上がったと実感できた得難い体験となりました。

教育学部
教育学科
Iさん

みんなのためにもなって 自らの糧にもなる貴重体験

自分は地方出身者ですので、入学した頃は土地勘もなく、友だちもなくて不安でした。でも、「親和行事」があったからみんなとすぐに打ち解けて仲良くなれた。おかげで充実した学生生活を送ることができています。自分のように地方から来た後輩にも同じ環境をつくりたいと思ってリーダーになりました。レクリエーションを考えたり、声をかけて盛り上げたり、みんなの楽しそうな様子を見て、良いスタートラインを作ってあげられたかなとホッとしています。後輩にもぜひ挑戦してほしいです。

教育学部
スポーツ教育学科
Kさん



「 創立60周年を迎え 」

本学は女子大学として出発し、共学化から4年、そして創立60周年を迎えた今、全学年に男女が在籍する新たなステージへと歩みを進めております。多様性が尊重される現代社会において、共学化はもとより、国境を越えて学び合うグローバル化や、地域・社会と大学が協働する共創の推進は欠かすことのできない使命です。本学では、こうした時代の要請に応えるべく、カリキュラム改革や学部・学科の再編を通じて教育と研究の充実を図り、着実に変革を進めてまいりました。

今後は、2027年度に心理学部の設置。これまでの2学部体制から3学部体制への発展をめざします。また、文学部の教育内容の刷新や教育学部のさらなる高度化を推進し、変化の激しい社会において主体的に行動し、長く社会に貢献できる人材の育成に一層取り組んでまいります。加えて、地域共創科目の深化やスポーツ

活動の強化など、多様な学びと成長の機会を広げる環境整備にも力を注いでまいります。

本学は「ともに学び ともに成長する」という理念のもと、学生一人ひとりが自ら問いを立て、他者と協働しながら社会に新たな価値を生み出す力を育むことをめざしています。創立60周年の機に掲げられた「ともに! 答えは自分で見つけよう」。を合言葉に、こうした普段の取り組みに全力で向かっていきたいと思います。引き続き、ご理解とご支援を賜りましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまでの歩みに深い感謝の念を抱くとともに、未来への責任を強く自覚し、さらなる飛躍に向けて挑戦を続けてまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



学長 松田 恵示

新たな
学び

地域共創科目

全国を先導する体験的演習と実習の取り組み
社会で必要となる「一生モノの力」が身につく!



生活づくりという社会参加を通して地域の“well-being”の実現をめざす「地域共創科目」。3年間を使った必修科目で週に1回、神戸市北区の約50に及ぶ諸課題を行政・企業・地域団体など多様な人々と課題解決に臨みます。リアルな協働体験をベースにアイデアを具現化する力を養います。



創立60周年を迎えた大学を、先生たちの視点が照らす

先生が見つめた現在・過去・未来



左から：教育学部 スポーツ教育学科 但尾哲哉 教授／教育学部 教育学科 間渕泰尚 教授
文学部 心理学科（2027年4月心理学部設置）大島剛 名誉教授／三井知代 前学長／教育学部 教育学科 近藤要司 教授

過去から現在を通して見えてきた変わったことと変わらず輝いているもの。
今あらためて神戸親和大学の魅力を紐解き、次世代につなぐ伝統を考える。

“大学が大きく転換した”“学生が変化した”と
感じる出来事は何だったのでしょうか？

三井：大きな変化はコロナ禍と共学化でしょうか。特にコロナ禍では、以前には10年かかると言われた授業のオンライン化を数週間で実現しました。間渕先生をはじめとする若手の先生方のご尽力の賜物です。24時間体制で教職員の質問等に対応いただき、感謝しかありません。
大島：教員と学生が二人三脚でやってきたことがたくさん生きているのがこの大学です。ボランティアの実績を通して地域の信頼も厚い。コロナ禍はその伝統が断絶しそうになった点で私も忘れ難い記憶です。
但尾：やはり阪神淡路大震災でしょうか。未曾有の震災でほぼ休学状態になった。ただ、困難を乗り越えるために教職員が一致団結できたのは印象深く、また、被災学生を他学生がサポートするなど学生同士がとても助け合った点には本学の良さをあらためて実感しました。
近藤：違う視点からの変化を挙げると、私が奉職した当時はメインが

英文学科と国文学科でした。教養としての“知”が大学の教育の主流でしたが、女性の社会進出につれて“実学”が求められるようになった潮流に時代の変化を感じました。
間渕：学生の生活の変容で言えば、やはりIT化が大きいですね。ただ近年は学生のスマホへのエネルギーの割き方がすぎて、時には振り回されているかに見えます。また、最近では世の中に余裕がないのか、条件の厳しいアルバイトに縛られる学生が増えていて気の毒に感じます。
この時代に、学生に求められる力や姿勢とは？
三井：数年先のことさえ不透明な社会になりました。そんな中では生き残っていく強さ、変化に対応して成長できる「レジリエンス」が求められます。失敗しても、そこから立ち上がる力を身につけて欲しい。
但尾：私は何に関しても柔軟に順応する「適応力」がこれからますます必要になってくると思っています。そして、その力を支えるのは、他者や団体とつながり協働する力だと思います。



前学長
三井 知代

大島：かつてのゼミ生に卒論は「好きなことを書きなさい」と言っていました。眼前の役立つ事ばかりを追いかけていたら、振り返った時に何も残っていない…なんて場合がある。好きな事を見つけ、やりきる姿勢は、生きていく上で自身の翼を広げる大きな力に必ずなります。
近藤：「様々な視点から物事を見る力」、それが実は教養なんです、先行きが見通せない時代だからこそ単一の価値観に飲み込まれるのではなく、違う角度から人間や世界を眺める、見極める力を養うことがいよいよ大切になってくると思います。
間渕：AIをどう使いこなすか、でしょうか。今でも課題の解答をAIで返してくる学生がありますが、それを重ねているとやがてAIに使われる側になります。AIを使いこなせる人間をどう養成するか、それは私にとっても大きなテーマの一つです。

先生にとって
神戸親和大学をひとことで表現すると？

大島：“つながりをつくる大学”だと思います。それはゼミの先生や部活仲間という直接的な人間関係だけでなく、ボランティアやサークルを通じて地域の方や上級生と下級生など複層的なつながりが生まれます。そんなチャンスをたくさん増やせる大学だと思います。
近藤：60年培った女子大学としての力だと思うのですが、女性の良さである柔軟性や温かさ、優しさが大学全体の雰囲気としてあります。そこで育つうちに人間的にふくらみのある人間が養われる。そんな、いわば“人間的なふくらみをつけてくれる大学”ではないでしょうか。
但尾：“地域に深く根ざす大学”という点が一つ。大島先生が長年築かれてきたことでもあるのですが、私自身も地域のセンター長を長年やって本当に北区、特に鈴蘭台にものすごく根を張っていることを誇りに思います。もう一つは、自分の子どもや孫にも通わせたいと思ってもらえる教育を実践してきたつもりですが、それが評価され多くの子女に選んでもらっています。そういう意味では“世代を超える大学”でもあるのかなと自負しています。

三井：“卒業生をいつまでも見守ってくれる大学”です。この規模感ならではの温かな空気や、先生方の熱意の強さもあり、卒業生が折々に大学を訪れることをとても歓迎してくれる大学だと思います。先生方は卒業式で「いつでもまた戻っておいで」と声をかけてくださいますし、実際に卒業生が人生の節目ごとに報告を兼ねて訪れる姿もよく見られます。これから先もずっと、そんな大学であり続けてほしいと願っています。
間渕：本学のモットーである「ひとに学びひとに生かす」が言い得ています。学ぶにしても、学びの実践にしても“ひと”が真ん中。本学の良さの一つである学生と教職員の距離の近さもこの考えが礎だからです。



教育学部 スポーツ教育学科 教授
但尾 哲哉

変わらずに未来に継いでいきたい
神戸親和大学の伝統とは？

近藤：私のゼミ卒ではないんですが、本学の職員になった卒業生が日本語を学ぶ学生を非常に熱心に世話をしているんです。支えるということに熱意がある。他人に対して優しくするって、自分の中に確固たる核や強さがなければできません。他人を支えながら、自分も成長する。そんな豊かな人間性を備えた学生が多いところが本学の良さです。それは次世代につないで欲しいと思います。



教育学部 教育学科 教授
近藤 要司



名誉教授
大島 剛

大島：いわゆる優等生というイメージではなく、“ええ子”が多いですね。伝統の親和行事や、私が長年携わってきたキッズオープンキャンパスに関わる学生たちを見ていても、どんどん垣根を超えてつながっていく様子を眺めていると本当に“ええ子”が多い。この校風は継いでいってもらえたらうれしいですね。
但尾：「主体的に考えろ」という教育方針は、神戸親和大学の良き伝統ではないでしょうか。私自身もその考えを大切に实践してきました。その結果、体育授業のサポートを任された際にも、自らミーティングを重ね、課題を考え、協力しながら授業を作り上げていました。単なる放任主義ではない。先生たちは必ずそばでずっと寄り添って見守っているからこそ、学生も安心して、のびのびと個性を活かしたチャレンジができる。この伝統は絶やしてはならないと思っています。
間渕：いい意味で“おせっかい”が多いのが本学の伝統ですよ（笑）。教員だけでなく、職員の方も学生にしっかりと寄り添って導く。それは学生間にも伝播して、だから先輩は後輩に対しても何かあれば「大丈夫？」と声をかけている。そんないい意味のおせっかいが伝統としてつながっていると私は感じています。

三井：共学化にあたり、多くの卒業生の方からご意見を伺いました。その中で最も多く寄せられたのが、「親和らしきだけは絶対になくさないでほしい」という声でした。では、その“親和らしさ”とは何か——それは、まさに先生方がお話しくださったことのすべてに表れているのだと思います。卒業生の皆さまが母校に寄せてくださる想いを大切にしなければならぬと、あらためて強く感じる一方で、ある卒業生が息子さんを本学に入学させたというお話も耳にしました。「わが子にも親和の教育を受けさせたかった。共学化したからこそ、それが実現できた」と喜んでおられたと伺い、私自身もうれしく思いました。親和ならではの良さをこれからも大切を守り続けながら、多くの卒業生の皆さまに「共学化して良かった」と感じていただけるような発展を重ねていきたいと、その決意をあらたにしました。



教育学部 教育学科 教授
間渕 泰尚

Campus to Community

一地域とつながる
活動レポート

あらゆる企業や団体とコラボ？！

2025年に学生が参加したボランティア活動から2つをピックアップ！
約2万人が参加する大規模市民参加イベントと防災啓発イベントをご紹介します。

2007年より開始し、毎年大好評をいただいているキッズオープンキャンパス。
第18回を迎えた昨年度の様子をご紹介します！

vol.01

神戸マラソン2025

リーダーだからこそ
得られる経験があります。

教育学部 教育学科 3年次生 Oさん

「神戸親和大学」は、神戸マラソンのボランティアに初期から加わっていますが、今回は第10給水所のリーダーとして参加しました。学内説明会用の資料作りから募集チラシの企画・作成、各種調整を経て、当日は30名のメンバーを取りまとめました。責任の重さを感じる場面もありましたが、関係者の方々の温かさに支えられ、やり遂げることができました。ボランティアが大好きで、これまでも神戸マラソンを含むいろんな活動をしてきましたが、今回の経験から、前向きな気持ちの大切さと周りへの感謝を実感し、さらにひと回り成長できたと感じています。



SCHEDULE

- キックオフ／2024.11～**
チラシを見て参加を決意。過去のボランティア活動の経験からチームリーダーに推薦いただき、引き受けることに。大学の担当部署と打合せを進める。
- メンバー募集・準備／2025.4～2025.8**
作成した資料を基に学内説明会を行い、参加者を募集。名簿作成や班分け、副リーダーの選定など、活動全体の調整を担当。
- 研修と参加メンバーへのレクチャー／2025.10～**
リーダー向け説明会に参加し、持ち帰った内容を学内メンバーへ説明。集合方法や役割分担、当日の動きを共有し、不安なく本番を迎えられるよう準備を整える。
- 当日／2025.11.16**
現地入りし、給水所の設置から開始。仲間と連携しながら、補給が滞りなく進むよう対応。応援も精一杯頑張りました！



vol.02

えほんで防災

練習と本番の違いに
焦るも臨機応変に対応！

文学部 国際文化学科 3年次生 Mさん

子どもたちに防災の正しい知識を身につけてもらおうと開催された「防災イベント」に参加しました。防災といっても火災か水害か等いろいろあります。僕たちは地震をテーマに、絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターを通して防災意識が高まるように働きかけました。サークルの顧問である笹倉剛先生は“ビブリオトーク”の提唱者。先生に助言をいただきながら、子どもたちに伝わりやすい防災知識の内容や構成をまとめました。練習通りに進まない場面もありましたが、臨機応変に声をかけを工夫し、子どもたちと一緒に楽しく学べる時間を作ることができました。



SCHEDULE

- キックオフ／1か月前**
読書サークルの参加が決定。防災をテーマとした絵本や紙芝居、パネルシアターの題材を話し合う。
- 準備・制作／4週間前～2週間前**
出し物ごとの担当者を決定。大量のパネルシアターのパーツ作成、仕分けを並行して進める。
- 練習／3週間前～前日**
読み聞かせやパネルシアターの動きを確認しながら練習。声の出し方や見せ方について、メンバー同士で意見を出し合う。
- 当日／2025.10.19**
会場設営後、最終確認を経て本番へ。子どもたちの反応を見ながら進行し、参加型のやり取りを交えながら担当ブースを進行。



キッズオープンキャンパス 2025報告

来場者数

839名

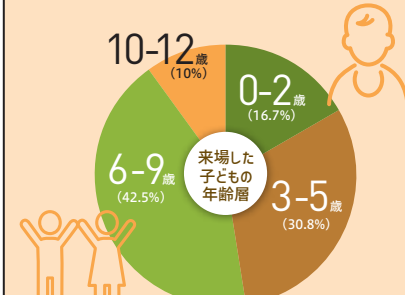
522名
317名

運営学生数

129名



来場者(子ども)年齢層



人気ブースランキング

- 1位 楽しい理科の世界ヘレッツゴー！
- 2位 オリジナルバスボムづくり
- 3位 世界にひとつのプラパンを作ってみよう！



2025年度入学生より全学科必修の「地域共創科目」。学生が地域社会の課題に主体的に関わり、実践的な行動を通じて学ぶことで、課題解決能力や協働力を養うことを目的とします。

【必修科目】地域共創科目 2025報告

取り組み課題数

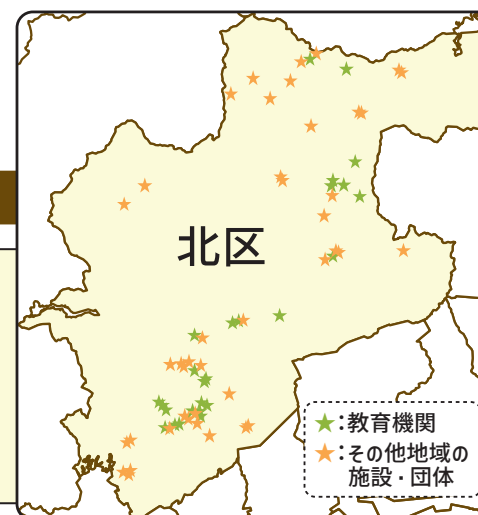
44件

参加学生数

482名

活動場所

神戸市 北区 42件
その他 2件



HISTORY

60年の歴史の中で様々な部活動において多くの
 方々が切磋琢磨してきました。現在は強化指定
 クラブとして12部(男女:バレーボール・剣道・卓球・
 バドミントン/女子:ソフトボール・バスケットボール・
 サッカー・ソフトテニス)が活動しています。
 その中で今回は「女子バレーボール」部の歴史を
 紹介します。

各部活については
 こちらを
 ご覧ください



各試合を
 Instagramで
 配信しています



ご声援よろしくお願いいたします

キャプテン

想いをつなぎ、勝利へ

今年のスローガンは「想心繋和」です。
 人を想い、勝利への強い覚悟を持ち、一本
 一本に全力を尽くして繋ぎ、チームの和で
 勝ち切ることを目指しています。個性豊か
 で人数の多いチームだからこそ、学年を
 超えた繋がりを大切に、全員が同じ目標に
 向かって取り組んでいます。
 2026年は秋季リーグ戦優勝、全日本
 インカレメダル獲得を目標に、日々の練習に
 励んでいます。



スポーツ教育学科
 4年次生

Fさん

卒業生の現役Vリーガー

入学年度	学生氏名	現所属チーム
2018 (H30)	竹氏 彩乃	リガレ仙台
2019 (R1)	徳安 七海	マツダクロス・ナイン (9人制)
2019 (R1)	山下 とも	プレス浜松

監督

指導者として、20年の歩み

創立60周年おめでとうございます。
 大学卒業後実業団チームでバレーボールの指導を学び、高校の女子
 チームの監督をしていたところ、ご縁があり神戸親和大学の子バレー
 ボール部の監督に就任しましたのが2007(平成19)年4月でした。ちょうど
 2026年で20年目を迎えます。60年の歴史のうち3分の1を指導する
 ことになりました。2019年に関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦を
 初優勝し、その後4連覇を成し遂げることが出来ました。バレーボール
 を通して人間形成をモットーに、Vリーガーも輩出しました。多くの卒業生
 が先生(指導者)になって次世代を担う子供たちを指導してくれて
 います。卒業生たちが送ってくれた学生たちでもう一度大輪の花を
 咲かせたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いいたします。



山本 清和

2020 (R2)	永江 日菜子	フォレストリース熊本
2020 (R2)	兵郷 珠彩	パナソニックブルーベルズ (9人制)
2020 (R2)	六車 葵晴	パナソニックブルーベルズ (9人制)
2021 (R3)	田中 麻帆	アランマーレ山形 (プレステージインターナショナルアランマーレ)
2022 (R4)	古田 さくら	カノアラウエアーズ福岡

1966 ●バレーボール部 創部

初代ユニフォーム



1974



1989

- 2003 ●春季リーグ戦 1部7位
- 秋季リーグ戦 1部3位

- 2004 ●春季リーグ戦 1部7位
- 秋季リーグ戦 1部8位

- 2005 ●春季リーグ戦 2部5位
- 秋季リーグ戦 2部優勝 1部昇格



2005



2005 大会風景

2部秋季リーグ
 優勝トロフィー

- 2012 ●第66回国民体育大会
 【ぎふ清流国体】初出場

- 2013 ●西日本インカレ第3位(初)
- 春季・秋季リーグ戦準優勝
 今までの最高成績を収める
- 兵庫インカレ 2回目の優勝
- 第67回国民体育大会
 【スポーツ祭東京2013】
 2年連続出場第7位入賞



2013 西日本インカレ第3位(初)



2013 春季・秋季リーグ準優勝



2013 第67回国民体育大会



2014
 第68回国民
 体育大会

- 2014 ●第68回国民体育大会
 【長崎頑張らんば国体】
 3年連続出場
 第4位入賞

- 2015 ●村永奈央(4年次生)
 全日本U-23代表選手に選出
- ユニバーシアード大会
 (イタリア)に出場 第3位
 銅メダル獲得



2015
 村永奈央

- 2017 ●初の海外遠征(フィリピン)PSL
 【フィリピンスーパーリーグ】優勝



2017 フィリピンスーパーリーグ優勝

2015

全日本U-23 ユニフォーム

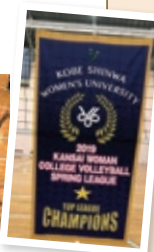


2019 TOPICS

- 関西大学バレーボール連盟
 春季リーグ戦 1部 初優勝(創部53年目)



2019 春季リーグ戦 1部 初優勝



- 神戸市スポーツ協会
 優秀団体賞 受賞



2019 神戸市スポーツ協会
 優秀団体賞 受賞

2023 TOPICS

男子バレーボール部創部

男女共学化により男子バレー部
 創部7部リーグからスタートし
 2026年春季リーグ戦2部昇格。



- 2023 ●春季リーグ戦 1部 優勝
- 秋季リーグ戦 1部 準優勝
- 西日本インカレ 準優勝
- 2024 ●春季リーグ戦 1部 優勝
- 秋季リーグ戦 1部 4位
- 西日本インカレ 準優勝
- 2025 ●海外遠征(フィリピン)
 2回目 PVL【プレミアバレーボールリーグ】準優勝



2025【プレミアバレーボールリーグ】準優勝

2025 TOPICS

OG会

雑草の会OG会(1990年~1994
 年の部員のOG会)年1回OG会を
 している。



2026

現在のユニフォーム



1966~

1990~

- 1990 ●強化クラブとなる
 (スポーツ推薦入試)
- 春季リーグ戦7部・
 秋季リーグ戦6部
- 平田職員兼監督

- 1991 ●井関 眞欣監督就任

- 1993 ●秋季リーグ戦3部昇格



1993

1991 TOPICS

練習方法の模索

平日週3回練習・土曜は休み。
 練習方法が分からず他大学に出向き
 活動を見学。ブロック練習のため壁に
 手形を貼った。



1993 秋季リーグ戦3部昇格

2000~

2006~

- 2006 ●春季リーグ戦 1部7位 2部降格
- 秋季リーグ戦 2部4位



2006

- 2007 ●山本 清和監督就任
- 春季リーグ戦
 2部優勝 1部昇格



2007 春季リーグ戦2部優勝

- 2008 ●関西インカレ 準優勝(初) ●兵庫インカレ 初優勝

2020~

- 2020 ●コロナ禍によりすべての公式試合
 が中止となる

- 2021 ●セイバーオードリンCUP 関西大学バレーボール 女子トーナメント 優勝
- 秋季リーグ戦 1部 準優勝
- 関西インカレ 準優勝
- 全日本インカレ ベスト16



2021 秋季リーグ戦 1部 準優勝

- 2022 ●春季リーグ戦 1部 優勝
- 西日本インカレ 準優勝
- 第77回国民体育大会
 【いちご一会栃木国体】
 5位入賞
- 秋季リーグ戦 1部 準優勝
- 関西インカレ 準優勝
- 全日本インカレ ベスト4



2022 春季リーグ戦 1部 優勝



2022 全日本インカレ ベスト4

Career Support

キャリアセンターの支援行事



将来に向かって、 頑張れ1期生！

2026年度に【神戸親和大学】(男女共学)の1期生として、“初の男子学生”が就職に向けて、臨んでいます。初の男子学生の教員・公務員採用試験をはじめ、企業就職では就職先の広がりも期待されます。



2025年度(2026年3月卒) 主な就職先・進学先

(注)進路実績:2026年5月1日現在

就職先

企業

【卸売・小売】生活協同組合コープこうべ／ホンダモビリティ近畿／国分北海道／兵庫スバル自動車
【金融】兵庫信用金庫／兵庫六甲農業協同組合
【運輸・郵便】NTTロジスコサービス／ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ
【サービス】マイナビ／KCJ GROUP ほか

教育

【小学校】兵庫県／神戸市／大阪市／横浜市／川崎市／富山県／鳥取県／岡山市／愛媛県／鹿児島県
【中学・高等学校】兵庫県／神戸市／大阪府／北九州市
【特別支援学校】兵庫県／神戸市／大阪府
【幼稚園・こども園・保育園・児童福祉施設】明石市／加古川市／たつの市／加西市／三木市／伊丹市／丹波篠山市／神戸親和大学附属親和幼稚園／千鳥が丘親和こども園／親和保育園／立花愛の園幼稚園 ほか

公務員

姫路市(事務)、自衛隊

進学先

神戸親和大学大学院／兵庫教育大学大学院／大阪公立大学大学院／鳴門教育大学大学院 ほか

進路実績
2026年度



採用担当者と卒業生が語る親和の魅力

企業人事担当

神戸トヨペット株式会社

N様



これまでの親和の学生の印象について
女子大学当時は、県内の女子大学の中では活発な学生が多く、ご自身の考え・意見をしっかり話せるイメージが強いです。

親和の学生に期待しているところは
たとえば、児童教育学科(現:教育学科)卒業の社員は、子どもが好きで大学での学びを活かしておられます。ショールームへ来られる家族連れのお客さま対応などには社内でも期待が高く、お客様にも高評価をいただいています！

また、ジュニアスポーツ教育学科(現:スポーツ教育学科)卒業の社員は、弊社が取り組む地域貢献活動へ積極的に取り組んでおり、クラブ活動やボランティア活動など学生時代の経験を遺憾無く発揮している印象を持っています。

親和卒業生の特長や活躍について

1998年に親和の卒業生が初めて入社し、現在は10名のOG社員、うちレクサス事業部に2名が在籍しています。結婚・育児を経ても長く働き続ける社員が多く、職場に自然に溶け込みながら活躍しています。また、社会貢献への意識が高く、仕事に真摯に向き合う姿勢も特長だと感じています。

最後に「神戸親和大学60周年に向けたメッセージ」を

長期間にわたり経営されている企業や大学に、地域の皆さまから愛され認められているから存続し、運営側は風土が良い会社・大学を創り続けてきたからだと思います。共学となりましたが、社会へ出て地域元への地域貢献活動を忘れず取り組んでほしいと思います。

卒業生

日本赤十字社 兵庫県支部

心理学科卒 T様



現在の勤務先での業務について

新卒で人事課に配属され、今年で7年目になります。現在は、病院に勤務する職員の人事労務や給与計算を中心に、職員住宅の管理や医師の各種届出業務、人事に関する各種調査などを担当しています。また、業務効率化を目的とした委員会活動にも参加し、職員の労災手続きやパート・嘱託職員の契約書作成など、幅広い業務に従事しています。

大学生活を振り返って感じる親和の良さについて

先生と学生の距離が近く、相談しやすい和やかな雰囲気は親和の魅力です。心理学科では、人の気持ちや社会との関わりを学び、卒業論文では「発達障害」を研究しました。また、ユネスコクラブでは副部長を務め、子どもに関わるボランティアや震災学習など多くの経験を積みました。大学で出会った友人関係も大切な財産です。

キャリアセンターを利用した利点と仕事に生かされていること

就職活動では将来への不安がありましたが、キャリアセンターで相談を重ねる中で自分と向き合い、考えを整理することができました。現在の職場との出会いもキャリアセンターがきっかけです。人との関わり方や粘り強く継続する力は、今の仕事にもつながっていると感じています。

「母校の発展に向けてメッセージ」を

「ともに学び ともに成長する」という言葉のとおり、学生と近い距離で思いやりを持って育ててくださる大学だと感じています。この大学で学ぶことができたことを、心から誇りに思っています。今後その温かく親身な教育の魅力を大切にしながら、さらに発展していけることを願っております。

通信教育部

社会人をはじめとして広く学習の機会を提供するために、本学では通信教育部を設けています。

通信教育部教育学部教育学科では幼稚園・小学校・特別支援学校教諭1種免許状、保育士資格取得のためのカリキュラムがあります(詳細「入学要項」参照)。

年齢も19歳から60代後半まで様々で、異なる経歴を持つ方々が、免許状や資格取得、大学卒業(学士の学位取得)などをめざし学ばれています。

また、キャリアアップや教養のために、「科目等履修生」として必要な科目や興味のある科目のみを履修する制度もあり、目的に合った“学び”を選んで入学できます。

遠隔授業によるスクーリング開講形態の科目を増やし、本学キャンパスに來られることが難しい方々にとって、少しでも学習しやすくなるよう進めています。



2026年度入学案内・入学要項



卒業生・修了生から一言



働きながらであったり、家庭がある中で、継続的に勉強をして資格を取るということは本当に大変なことです。お金も時間も強い気持ちも必要で、私自身、何回も無理かもしれないと思いましたが、無事に単位を取得して4月から現場で働けることが決まり、がんばってよかったと思っています。みなさんどうか、諦めずに少しずつ頑張ってください。時間をかけて、遠回りをしたからこそ、子どもたちに伝えられることがあると信じて、私も頑張りたいと思います。(20代)

レポートの提出、科目修了試験の繰り返しの過程は孤独で、途中で諦めてしまいましたが、スクーリングで仲間と出会い、励ましあって卒業に進めたと実感します。目的に向かって自分のペースで進み、決して諦めないことが大切だと思います。(50代)

科目等履修制度について

科目等履修生の登録期間は1年間です。入学時満60歳以上の方は受講費用減免制度があります。

すでに教員免許状をお持ちの方

教員として3年以上の在職年数がある方は、**科目等履修生**として登録し必要な科目・単位を修得することで、**他校種の教員免許状の取得**が可能です。

教育職員免許法第6条別表を根拠としますが、免許法で定められた最低単位数より本学通信教育部開講科目の単位数は多くなります。

取得したい教員免許状	すでに所有している教員免許状	所有する教員免許取得後、当該学校園での在職年数	本学通信教育部で修得が必要な最低単位数
小学校教諭2種免許状	幼稚園教諭普通免許状	3年以上	16単位
	中学校教諭普通免許状	3年以上	14単位
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	3年以上	6単位
特別支援学校教諭2種免許状	幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭普通免許状	3年以上	18単位

「幼稚園教諭免許状」を所有しているが、「保育士資格」を所有されていない方

「保育士資格」を所有しているが、「幼稚園教諭免許状」を所有されていない方

「特例制度※」が利用できます

※5年延長され、2029(令和11)年度末までとなりました。

実務経験3年以上(かつ実労働時間合計4,320時間以上)があれば、**科目等履修生**として8単位を修得することにより、「幼稚園教諭免許状」又は「保育士資格」を取得することができます。



<通学部在学生対象>「通信教育プログラム」について

学びを広げ、先生になる夢へ近づく！

通学部 に在学しながら科目等履修生として本学通信教育プログラムを併修することで、小学校教諭1種免許状または幼稚園教諭1種免許状の取得が可能になります。(入学後別途手続き／2年次から履修可能 ※費用別途必要)

通学部学科	本学通信教育プログラム併修でめざせる教員免許状
国際文化学科	小学校教諭1種免許状 または 幼稚園教諭1種免許状
心理学科	
スポーツ教育学科 (中学校教諭1種免許状取得予定者)	

通学部の在学生は本学通信プログラム併修にかかる**学費の4分の3が免除！**

通信教育部は開設20周年を迎えました

“いつでも、どこでも、だれにでも”“一人ひとりの学びを応援したい”そんな思いで始まった通信教育部は、おかげさまで今年開設20周年を迎えます。この20年間で公立小学校教員採用試験合格者数は、延べ580人を超えました。通信教育部で免許・資格を取得した方々が、全国の教育現場あるいは福祉現場で活躍されています。さまざまな立場や年齢の方々が学びやすい体制をつくり、これからも広く社会に貢献できる通信教育部でありたいと願っています。



開設当時(2006年)の鈴蘭台キャンパス



移転前の三宮サテライトキャンパス授業風景

すべての専願入試において入学金免除

詳細はこちら

ファミリー割引制度



母校だからこそその安心感と学びへの想いを、次の世代へ。進学的第一步を経済面でサポート！

すべての専願入試(AO入試、スポーツ入試、指定校入試、協定校入試など)の合格者で、

親族2親等
以内

に

以下の大学・中高に卒業生
または在学生在がいらっしゃる方

- 祖父母
- 父、母
- 兄弟、姉妹

- 神戸親和大学(大学院、教育専攻科含む)
- 親和中学校
- 親和女子高等学校
- 通信教育部(正科生のみ)

入学金 (220,000円) **全額免除**

制度利用者の声

当制度を利用して入学した学生に、進学を決めた際のエピソードを聞きました。



妹

姉

姉が毎日楽しそうに大学であったことを話しているのを聞いて受験を決めました！割引制度はその後押しをしてくれました。

親和の学生生活は授業の内容が濃くてサポートも手厚く毎日が充実しています。妹にも、自信を持って勧められました！

教育学部
教育学科
2年次生
Wさん

教育学部
児童教育学科
(現:教育学科)
4年次生
Wさん



自分の心から 始める 心理学

心理学部
特設サイト



“こころ”を知るのは勇気がいる。
それでもきっと、
ずっと自分らしく生きていくために。



神戸親和大学の心理学部では自分の心の声を聴く

「体験的セルフケア」をはじめとした、

自分を整える学びを土台にAIではまだ解決できない
人のこころについて学びを深めます。

“人の気持ちがかかる力”は、社会で一番役に立つ力です。
これまでの経験や感性を自分や誰かを支える「力」に変えて、
ここから、新しいあなたの歩みが始まります。

心理学部
2027年4月
設置



創立60周年 記念募金

詳細はこちら



平素は親和学園の教育研究にご理解とご支援を賜りまことにありがとうございます。心よりの感謝とお礼を申し上げます。

さて、親和学園では、常に社会の発展動向を視野に入れて、新たな教育的価値の創造を目指して、改善に努めるとともに新規の企画の実現に向けてさらなる努力をして参ります。皆さまの支えのおかげにより、神戸親和大学は2026年に創立60周年を迎えることができました。今後も更なる発展を目指して尽力して参ります。そのために新たな募金活動を行います。

誠に心苦しいところではございますが、何卒ご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。

創立60周年記念事業に係る資金調達のため1口1万円のご寄付で、なるべく複数口のご協力をお願いいたします。金額にかかわらず、1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。ご寄付は任意ではございますが、教育環境の整備及び奨学金の充実のため、是非ともご協力くださいますようお願いいたします。募金は上記QRコードから利用可能です。

募金について



リサイクル募金

きしゃぽん



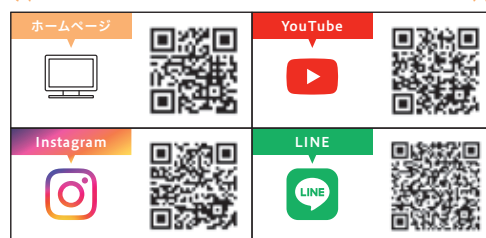
詳細はこちら



家に眠る宝物で
支援できます

きしゃぽんとは、ご自宅などでいらなくなった品物を換金して寄付をするリサイクル募金活動です。頂戴しましたご寄付は、本学の教育環境の整備や学生への支援などに活用させていただきます。お家に眠る宝物で、学生たちを応援してくださいませんか。皆様からのご支援、ご協力をお待ちしております。

公式SNSで情報をチェック！



ともに学び ともに成長する
神戸親和大学
KOBE SHINWA UNIVERSITY

〒651-1111 神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1
TEL:078-591-1651(代表)
HP: <https://www.kobe-shinwa.ac.jp/>

親和フォーラム vol.67 2026年7月10日発行
神戸親和大学広報委員会